

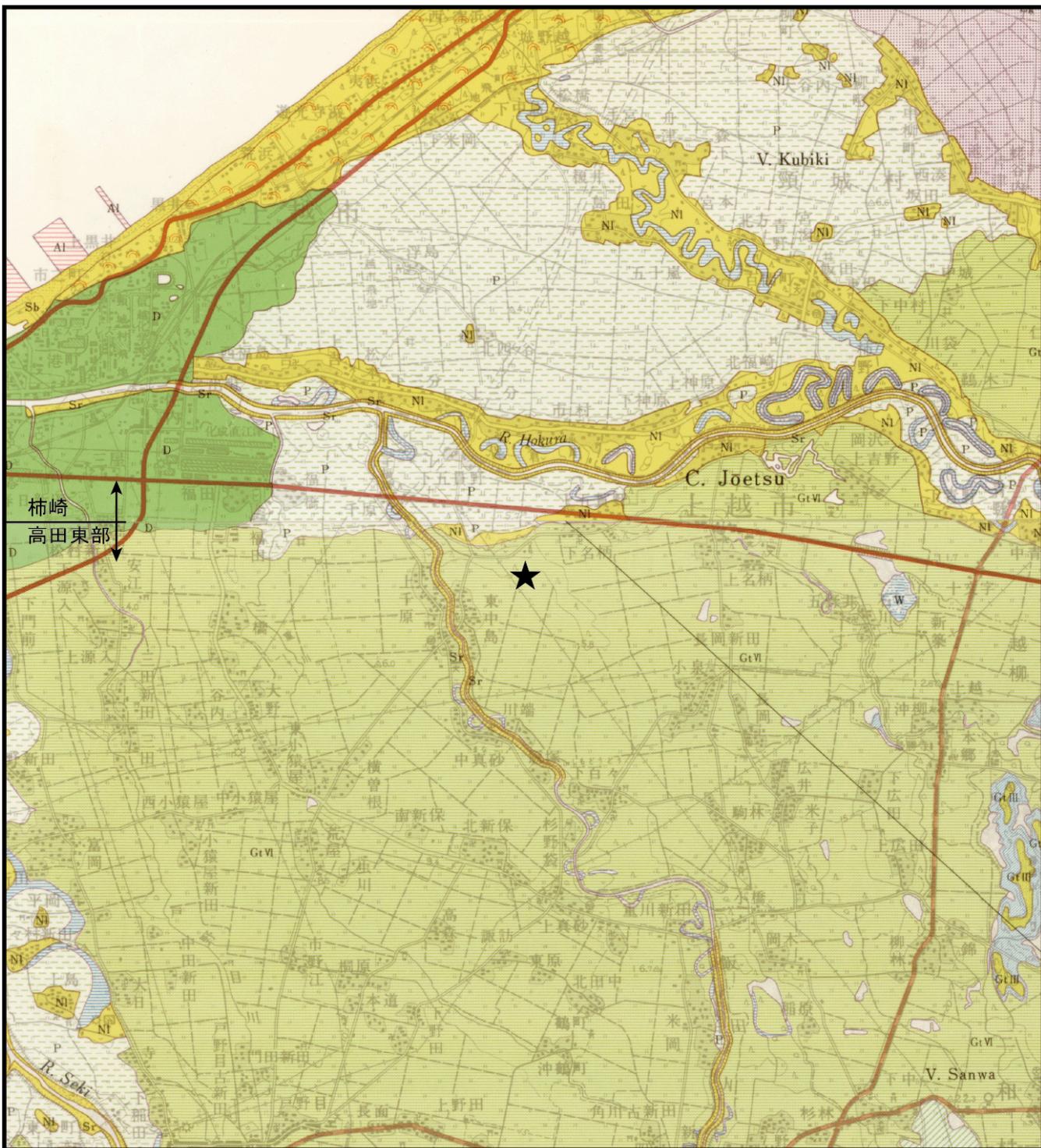
2-1-4 地形に関する状況

(1) 地形

対象事業実施区域周辺の地形分類図を図 2-1-16 に示す。対象事業実施区域が位置する高田平野では関川水系の多数の河川が流れ、池沼が点在する。東部は東頸城丘陵が広がる山間地域、北部の海岸線では日本海に接する。対象事業実施区域は、保倉川と飯田川に挟まれた地域に位置し、砂礫段丘に区分されている。

(2) 貴重な地形

「新潟のすぐれた自然」及び「続・新潟のすぐれた自然」によると、対象事業実施区域周辺の貴重な地形として、保倉川の旧流路と自然堤防が報告されている。図 2-1-17 に示すように、現在の保倉川沿いと、右岸の森本から北西方向に続く2列の旧流路・自然堤防がみられる。特に顕著な旧流路・自然堤防は、上越市頸城区川袋―百間町―北方―舟津―下中島まで連なっており、蛇行する旧流路は水田、それを取り囲む形の自然堤防は集落・畑に利用されている。



凡 例

図 2-1-16 対象事業実施区域周辺の地形分類図

★ : 対象事業実施区域

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>台地</p> <ul style="list-style-type: none"> Gt VI : Gt VI <p>低地</p> <ul style="list-style-type: none"> 谷底平野 D : 三角州 干潟及び干拓地 Ni : 自然堤防及び微高地 | <ul style="list-style-type: none"> Sr : 河原 Sb : 浜 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工改変地形 国道 主要地報道 | <p>台地</p> <ul style="list-style-type: none"> Gt III : Gt III Gt VI-1 : Gt VI-1 Gt VI-2 : Gt VI-2 <p>低地</p> <ul style="list-style-type: none"> 谷底平野及び氾濫平野 | <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 扇状地 D : 三角州 w : 湿地 Ni : 自然堤防及び微高地 Sr : 河原 扇状地 国道 主要地報道 |
|--|--|--|--|

出典：「土壌分類基本調査 - 地形分類図 - 柿崎」
 (新潟県、昭和 54 年 3 月)
 「土壌分類基本調査 - 地形分類図 - 高田東部」
 (新潟県、昭和 55 年 3 月)

